

墜落災害を防ぐ

リスクアセスメント

墜落災害など、重大な災害を回避するためのリスクのかけ方について、このビデオでは、途中から工事方法が変更され、作業手順書を改めて出し直すことになり、来週からの手順書に急ぎ修正する過程で、その要領と要点を学びます。

◆ 手順書作りのアドバイス

まず、作業を単位ごとに区分しますが、大切なのは現場に合わせた作業手順にすることです。

◆ 危険性・有害性の洗い出し

危険性、有害性とは、墜落や転落の危険性がどこに潜んでいるか、しっかり洗い出すことです。

◆ 洗い出しに役立つもの

まずは災害事例です。ヒヤリハット事例やKYで出された危険性または有害性も参考になります。

◆ リスクの見積り・重篤度・可能性の度合いは

- ・重篤度とは、労働災害が発生した場合の負傷の程度です。
- ・可能性の度合いとは、災害が発生する可能性がどのくらいあるかということです。
- ・見積りの考え方は、知識や経験の差によって変わってきます。

◆ 優先度の決定

見積りを基に5段階に分け、低減対策の検討基準とします。

◆ リスク低減措置

危険作業をなくしたり、作業方法を見直したりします。



墜落災害を防ぐ リスクアセスメント



墜落災害を防ぐ

リスクアセスメント



収録時間
約17分

4:3

MPEG-2

片面・1層

複製不能

労働調査会

170-0004 東京都豊島区北大塚2-4-5
Tel 03-3915-7316 / Fax 03-3940-1168

TEL: 03-3915-7316

リスク対策
研究会

リスク対策研究会